

# 令和元年度 事業報告書

公益財団法人鍋島報効会

当会は佐賀県下における文化及び教育の振興に資し、かつこれを奨励助成するとともに社会事業に貢献することを目的としており、目的達成のため以下の4つの事業を行った。

## 公1 [ I ] 徴古館の運営（定款第4条第1項第1号に定める事業）

### (1) 展示公開事業

#### 1) 企画展

第88回展「伝来品で辿る鍋島家の歴史—佐賀藩主から侯爵へ—」

令和1年5月20日(月)～12月27日(木) 入館者数:1,914名

佐賀藩を治める大名から、皇室を支える華族(侯爵)へ。鍋島家伝来品でたどる、幕末・明治の鍋島家ご一家の歴史。

第1期(5/20～7/20) 皇室と鍋島家

第2期(8/19～10/19) 仙台伊達家からのお輿入れ

第3期(11/11～12/27) 直正公の娘たち—貢姫・宏姫・姫

第89回展「鍋島家の雛祭り」

令和2年2月11日(火)～3月15日(日) 入館者数:5,307名

「第20回佐賀城下ひなまつり」の一環として、侯爵鍋島家歴代夫人が愛しんだおひなさまのほか、天皇家や宮家とゆかりの鍋島家ならではの牙彫り細工の作品26点を展示した。その精緻な技巧が注目された。例年は3月末までの展示だが、今回は新型コロナウイルスの影響で3月15日(日)までの開館となった。

#### 2) 講演会

関連した講演会は実施しなかった。

本年度2回実施した「佐賀城下探訪会」では午前中座学を行った。

#### 3) イベント

①第24回プレイエル小音楽会:令和1年11月17日(日)11時/14時  
演奏者:大坪健人(佐賀市在住) 参加者:120名

②第11回香道体験会「初春の香りを楽しむ」:令和2年1月26日(日)  
10時/11時/13時/14時の計4回  
講師:志野流香道枕島禅徹氏 お点前:佐賀香遊会、宗徧流による呈茶  
参加者:91名

③お抹茶席:宗徧流・裏千家流/お箏の音色:箏曲穂波会/茶花展:松風会室町御流  
・・・ひなまつり期間の土日祝日に開催

### (2) 調査研究事業

#### 1) 調査研究活動

佐賀城下の魅力の掘り起こしや今後の歴史的まちづくりに活かすための調査研究。  
鍋島家文庫のうち藩士褒賞の記録「褒賞録」の解読・活字化、データ整理、編集作業。  
また、継続して藩士名簿のデータ整理、入力作業を行った。

#### 2) 佐賀城下探訪会の開催

第38回(10/20) 「龍造寺家と鍋島家—東めぐり」 参加者94名

第39回(12/1) 「龍造寺家と鍋島家—西めぐり」 参加者95名

#### 3) その他

収蔵品総合目録作成のための収蔵資料の写真撮影を実施。  
13代鍋島直泰氏収集蝶コレクションのデータベース化(吉田喜美明氏へ委託)。

### (3) 収蔵保管事業

収蔵庫は24時間空調で対応している。

年2回収蔵庫空調設備の保守点検及び消防点検を実施した。

### (4) 施設の貸与及び保全

#### 1) 施設の貸与

①さが城下まちづくり実行委員会定例会6回…さが城下まちづくり実行委員会

②佐賀城下案内板検討会10回(4月～1月)…佐賀市都市デザイン課

③濠端9館会議2回(10月と3月)ほりばたマップ改訂版作成

④佐賀植物友の会研究報告会(2. 1/26)…佐賀植物友の会

⑤生花教室 22回(4月～3月)…室町御流

⑥鍋島文化を支える会総会(6/19)

⑦春の煎茶席(2/22～23)…日本礼道小笠原流

#### 2) 徴古館の保全

夏の記録的な大雨で床下浸水の被害(一部西側通路は床上浸水)があり、軽微ではあるが手当てを行った。

### (公1)[Ⅱ] 史跡等の保存事業及び顕彰事業(定款第4条第1項第2号に定める事業)

史跡等の保全のため、以下の8件について除草等を実施し、訪問者により良い環境を整えた。

- (1) 鍋島家春日御墓所
- (2) 十可亭跡公園
- (3) 高傳寺墓所及び御位牌所(佐賀市史跡)
- (4) 鍋島直茂誕生地・胞衣塚(佐賀市史跡)
- (5) 築地反射炉跡記念碑(佐賀市史跡)
- (6) 萬部塔と六地藏(佐賀市史跡)
- (7) 弘道館記念碑
- (8) 善応庵墓所

なお、高傳寺については、大雨被害による御位牌所外壁の修復工事に別途192万円弱を支出した。

### (公1)[Ⅲ] 研究助成事業(定款第4条第1項第3号に定める事業)

令和元年度(第19回)は、以下の4件を助成対象に決定し、合計987,000円を平成31年4月5日に授与した。1年間の研究成果を令和2年3月末までに報告。令和2年5月30日(土)に研究成果の報告会を実施する予定だが、コロナウイルス関連により変更の可能性あり。

- |  |     |          |
|--|-----|----------|
| 1 岡寺 良(九州歴史資料館技術主査)<br>「佐賀藩・唐津藩の沿岸防衛に関する考古学的研究」  | 助成額 | 250,000円 |
| 2 下高大輔(熊本市熊本城調査研究センター文化財保護主任主事)<br>「肥前名護屋城を中心とした「五畿内同然」考—九州への織豊城郭石垣導入に関する再検討—」                                       | 助成額 | 250,000円 |
| 3 堀江 潔(佐世保工業高等専門学校歴史科教授)<br>眞部広紀(佐世保工業高等専門学校数学科准教授)<br>岡本 渉(名古屋大学宇宙地域環境研究所技術職員)<br>「基肄城・帯隅山神籠石・おつぼ山神籠石の写真測量と三次元モデル化」 | 助成額 | 249,000円 |
| 4 高岡 萌(大阪大学大学院文学研究科日本史学博士後期課程4年)<br>「鹿島鍋島家と鎔造館—旧藩家主導の中等教育の研究—」   | 助成額 | 238,000円 |

平成30年度(第18回)の研究成果は令和1年6月2日に研究報告会を開催し、成果を広く公開する機会を設けた。平成29・30年度の成果を纏めた『公益財団法人鍋島報効会研究助成 研究報告書第9号』を出版頒布した。なお、令和2年度研究助成の選考会は令和2年1月27日に開催し、2件に決定した。

#### (公1)[IV] 一般助成事業(定款第4条第1項第3号及び第4号に定める事業)

以下の12件を助成対象とし、各団体に合計4,699,500円を助成し、各事業の遂行に寄与した。

|   |     |            |
|---|-----|------------|
| 1 松浦党研究連合会<br>(『松浦党研究』及び資料集の刊行費補助)        | 助成額 | 100,000円   |
| 2 公益財団法人佐賀育英会<br>(松涛学舎の鍋島文庫図書整備費)         | 助成額 | 100,000円   |
| 3 佐賀県中学校体育連盟<br>(大会の入賞盾及び優勝旗2本新調費)        | 助成額 | 400,000円   |
| 4 佐賀美術協会<br>(美協展での「鍋島報効会賞」4部門への授与)        | 助成額 | 80,000円    |
| 5 佐賀県なぎなた連盟<br>(ジュニア育成のためなぎなた・防具の購入費)     | 助成額 | 200,000円   |
| 6 佐賀植物友の会<br>(機関誌『佐賀の植物』発行費及び標本データベース化補助) | 助成額 | 600,000円   |
| 7 佐賀自然史研究会<br>(会誌『佐賀自然史研究』発行費補助)          | 助成額 | 150,000円   |
| 8 佐賀県菊花愛好会<br>(佐嘉・松原神社への献花補助)             | 助成額 | 50,000円    |
| 9 佐賀ん町屋ば甦らす会<br>(松原神社参道で町おこしの活動拠点の提供)     | 助成額 | 600,000円   |
| 10 佐賀県空手道連盟<br>(ジュニア育成のための強化費補助)          | 助成額 | 200,000円   |
| 11 與賀神社<br>(国重文與賀神社楼門・三の鳥居および石橋の保存修理助成)   | 助成額 | 300,000円   |
| 12 高傳寺<br>(市史跡 鍋島・龍造寺家御位牌所外壁補修工事費助成)      | 助成額 | 1,919,500円 |

なお、令和2年度一般助成の選考会は、令和2年1月27日に開催し、10件に決定した。

#### (収1) 不動産賃貸等に関する事業(定款第4条第1項第5号に定める事業)

収益事業の全体収入は前年度より若干増加した。借地返還や地代滞納も発生しており、貸地料収入の減少傾向は続いている。年度終盤で発生した新型コロナウイルス問題により収益全般の減少が始まっており、貸地貸家関係では賃料の値下げ依頼も出てきている。今後苦しい状況が続くと思われるが、収益改善のため諸問題の解決に取り組み、松原公園第2期計画他土地活用についても検討を継続する。

| (令和元年度実績) |             | 前年度比          |
|-----------|-------------|---------------|
| 貸地料収入     | 16,213,120円 | 375,160円(増加)  |
| 家賃収入      | 10,482,000円 | -180,000円(減少) |
| 駐車料収入     | 30,269,450円 | 577,080円(増加)  |
| 雑収入       | 1,036,077円  | -238,403円(減少) |
| 計         | 58,000,647円 | 533,837円(増加)  |